

## 【別紙様式3】

## 再評価実施事業調書

番号	2	事業名	社会資本整備総合交付金事業 九十九里浜侵食対策		路線又は箇所名等		九十九里浜 (飯岡漁港～太東漁港)		
事業所管課			河川整備課		事業主体		千葉県		
事業化年度	令和3年度		用地着手年度	一	工事着手年度 工事終了年度	令和3年度 令和31年度	再評価の理由	再評価	
費用便益比 B/C	1.6 (1.7)	総費用	215億円 (201億円)	総便益	351億円 (337億円)	基準年	令和7年	供用開始年度	令和32年度

※上段：全体事業費 下段( )：残事業費

## 【事業概要】

## (目的)

九十九里浜は、陸域への波の進入を防ぐという防災機能を有するだけでなく、雄大な海岸景観を織りなし、水産資源の生息空間やレクリエーション活動の場としても利用されている海岸であるが、国土保全の観点から土砂の供給源であった屏風ヶ浦や太東崎に整備した消波堤により、海岸侵食が進んできた。これを防止するため、離岸堤やヘッドランドの整備を進めてきたが、一方で沿岸下手側の海岸では沿岸漂砂が減少し侵食が拡大している。本事業は、海岸侵食を抑制・防止することを目的とし、養浜（人為的な砂の投入）及び施設整備（ヘッドランド、離岸堤）を実施する。

## (主な事業内容)

ヘッドランド：9基  
離岸堤：7基  
養浜：9万m<sup>3</sup>/年

## 【事業の進捗状況】(令和7年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全 体	340.0	13.2	326.8	3.9

## 【社会経済情勢等】

## ① 海岸及び背後地状況

海岸は年間数十万人が海水浴やイベントなどで砂浜を利用しておおり、県のブランド水産物認定品である「九十九里地はまぐり」の漁獲もあり、漁業活動の場としても利用されている。また、海岸背後には、南部は九十九里有料道路、北側は九十九里ビーチラインがあり、その背後には住家が密集しており、砂浜侵食および侵食に伴う高潮発生時の被害、社会的影響が極めて大きい。

## ② 主な侵食・高潮被害状況

- ・平成27年12月(低気圧) 北九十九里(吉崎海岸、木戸海岸) 侵食に伴う護岸被災
- ・平成30年8月(台風13号) 南九十九里(白里海水浴場) 砂浜侵食

## ③ 投資効果 [裸書：全体事業、( )：残事業]

- ・海水浴利用客 25.9万人/年(24.8万人/年)
- ・イベント利用客 22.0万人/年(21.0万人/年)
- ・ハマグリ漁獲高 1,486トン/年(1,421トン/年)

## ④ その他(関連事業)

## (関連事業)

- ・北九十九里～一宮海岸高潮対策
- ・地域の協力体制

## 【対応方針(案)】

全体事業の費用対効果(B/C)は1.6(残事業1.7)であり、事業の投資効果が見込めるうこと、また、今後も地域の発展が見込まれ、地元からの要望が大きく、事業の進捗も見込まれることから、事業を「継続」する。

【別紙様式4】

事業概要図

番号	2	事業名	社会资本整備総合交付金事業 九十九里浜侵食対策	路線又は箇所名等	九十九里浜 (飯岡漁港~太東漁港)
計画平面図					
<p>全体計画</p> <p>主要な河川による沿岸侵食対策投入。 主要での砂質海岸では、砂の搬入が実施され、自然な形で砂が下流に移動して河口に砂が堆積され堆積防護工と組む。</p> <p>離岸堤の一例(天端高下限法)</p> <p>西海岸沿いの特徴として、開発者(川岸市町村長、漁業協同組合)の意向を得ながら組み立てる。</p>					
<p>片貝漁港・九十九里浜、大網白鬚市、白子町、長井村、一宮町</p> <p>港湾や施設の構造に応じて、開発者(川岸市町村長、漁業協同組合)の意向を得ながら組み立てる。</p>					
代表断面図					
<p>養浜</p> <p>海岸護岸のある場合</p> <p>目標砂浜幅40m (=必要沿幅10m+季節変動幅20m+陸域沈下による変動幅10m)</p>					
ヘッドランド(ヘッド部横断図)					
<p>4.20 40.00 4.20</p> <p>H.W.L. T.P.+0.65 L.W.L. T.P.-0.82</p> <p>T.P.+4.00 T.P.+2.50</p>					
<p>離岸堤</p> <p>T.P.+1.60 5.00 1:1.3</p>					

## 【別紙様式5】

## 再評価事業に関する調書

番号	2	事業名	社会资本整備総合交付金事業 九十九里浜侵食対策	路線又は箇所名等	九十九里浜 (飯岡漁港～太東漁港)
事業化年度		令和3年度	用地着手年度	—	工事着手年度 令和3年度

## 【事前評価(令和2年度)の概要】

事前評価実施年度 (基準年)	令和2年度	供用開始年度	令和32年度	対応方針	継続
B／C	1.3 [－]	総費用	186億円 [－億円]	総便益	236億円 [－億円]

(※上段：全体事業、下段：[ ]：残事業)

## 事前評価時の委員会の意見及び当時の状況

- 継続することが妥当である。

## 事前評価時の進捗状況

	計画	進捗状況(令和3年度)
事業費	330.0億円	0.0億円(0.0%)

## 【再評価(令和7年度)の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和7年度	供用開始年度	令和32年度	対応方針	継続
B／C	1.6 [1.7]	総費用	215億円 [201億円]	総便益	351億円 [337億円]

(※上段：全体事業、下段：[ ]：残事業)

## 現在の進捗状況

	計画	進捗状況(令和7年度)
事業費	340.0億円	13.2億円(3.9%)

再評価後の  
経過  
及び  
処理状況令和3年1月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 事前評価  
(事業着手が妥当である)